豊かな地域療育を考える連絡会報告とお知らせ

第198回定例会を2月16日(木)に年間予定通り実施しました。Zoomによるオンラインで参加者は28名でした。2月の定例会で新年度を迎えるに当たり児童発達支援事業所と放後等デイサービス事業所とで部会をもちたいとの要望が出されました。事務局で話し合った結果、相談・療育・学校・保護者も含めて全体会で意見交流をすることになりました。部会は実施しませんでした。



テーマ 進学・進級の際の引き継ぎと連携のかたちについてく記録要約>

○ 投げかけたテーマ

未就学から就学への移行期や小学校から中学校へ の進学時期を中心に、それまでの支援の経過や課題 をどのように引き継ぎ、今後の支援課題を当事者、 支援者間でいかにして共有するか。

○ 保護者から

やっと計画相談ができることになったら本当に楽になった。3ヶ月に一度モニタリング。サービスが欲しいときは探してくれたし、1年に一回オンラインで関係者のミーティング。情報共有も相談員がしてくれる。情報も持っているので本当に助かる。

○ 事業所では

- ・相談支援、児発との連携が取れていないので。新学期何人来るのか?と毎年頭を悩ませることに。
- ・児童発達から放課後等デイに移行するにあたって 計画相談があればいいのだが、実質セルフプランも 多いのが現状。児発の事業所の人と、放課後等デイ 事業所と顔合わせしておけば連携や移行がスムーズ になるのではないかと提案した。
- ・うちの事業所ではパブリックで提携しているシームレスバディというものを行っている。今までの成長過程で蓄積された情報が電子カルテ化されている中で、その子がどこに行くのが適切な進路なのかとか先生方にその子の指導法を伝えるのに役立ったりする。放課後等デイのダンウエイジュニアGUでは個別支援計画モニタリング、前段階放デイでも個別支援計画にシームレスバディを使う。小さい段階でアセスメントを入れておけば小、中、高、就職までその時々のアセスメントが出来る。引き継ぎのやり方のひとつとして提案。
- ・今まで児発と放課後等デイの連携が少ない。保護者から支援計画を見せてもらって書面でのみの連携はしているのだが、電話や直接会っての連携ができていない。保護者を介して個別支援計画を拠り所に。
- ・保護者が選んだところの事業所でこちらのこれまでしてきた支援を継承できる条件があれば引き継ぎの資料は作る。問い合わせがあればこんな方針で、とかこれが苦手とか伝えている。
- ・放課後等デイ事業所との横のつながりは持ててない。直接電話とかできない。直接お会いするのは時

間の制約もあるのでどこの事業所ともしていない。 連絡会を通じて毎月じゃなくても 3 ヶ月にいっぺん や半年でもいい。年度の切り替え時にあれば事業所 同士の連携が取れるかも。放課後等デイと児発の定 例会が開かれるようなら教室長、施設長が集ってこれからの地域の皆で繋がる話が出来るのかな。

- ・放デイでは児発で使っていた個別支援計画書、児 発でやっていた目的などは変わってくる場合もある ので新たに計画を作って、児童発達の様子が知りた いときは親に許可を得て連絡をとり聞いている。
- ・開所の時に近辺の放課後等デイに挨拶に行ってこちらの顔と名前を覚えてもらうように心がけた。一度顔を合わせているので情報交換がしやすい。電話などでも話がスムーズ。顔を合わせる機会がほしい。

○ 療育センター関連

- ・幼児期、療育センターで受けていた子はどういう 引き継ぎがなされているのか?
- ・支援学校には通園していたときの担当者から引き継ぎ資料を作成し渡している。食事、生活、排せつに至るまでの細かい資料。PT、OTに関わっている子は専門職から。ワーカーから話しをする。要支援のお子さんの場合は放課後等デイや学校と話す。
- ・療育センターからモニタリングがあり、様子を聞かれて計画支援に反映。事業所から療育センターに問い合わせしてもよいのか?新たに入る子どもについて問い合わせをしたいのだが。
- ・保護者の同意があれば大丈夫。事業所の一存では 個人情報のことがあるので難しい。
- ・療育センターと放課後等デイ。学校と療育センターのかかわりについて連携の問題を感じる。大きくなればなるほど軽度だと支援を切られていく人も多い印象。

○ 学校との連携

- ・支援学校が巡回相談に関わっていた子の情報提供は出来るのか?
- ・ケース会議は養育センター、放課後等デイと持っている。巡回相談で関わっていた子の情報提供はできない。巡回相談は学校への支援なので。
- ・入学時に支援関係者へ紙ベースの情報提供をしている。ケース会議は必要に応じて。

近況報告その他 (紙面の都合で省略)

第200回定例会は 4月20日(木) 9:30~11:30(全体リアル参加で実施予定)

会場は、武蔵小杉駅周辺を予定。

参加申込および問い合わせは、事務局044-455-7468 七川まで